

会議の名称	第20回 東村山駅周辺まちづくり協議会				
開催日時	平成 28 年 2 月 9 日 (火) 19:00~20:30				
開催場所	市民センター 2 F 第 1、2 会議室				
出席者 及び欠席者	出席者： (委員) 野口町1丁目自治会・仲好会自治会・美友自治会 諏訪町自治会・本町1丁目自治会・本町2丁目自治会 東村山市商工会・東村山駅東口商店会・野口町親和会 東村山駅周辺まちづくり研究会・東村山青年会議所 21人 (UD) アーバンデザイン東村山会議 棚田氏・益田氏・三上氏・中谷氏 4人 (事務局) 渡部市長 野崎まちづくり部長 肥沼まちづくり部次長 まちづくり推進課：山田課長・井上係長・根津主査・星野主事 (コンサル) 日本交通計画協会 幡歩氏・近藤氏				
傍聴の可否	傍聴可	傍聴不可の 場合はその 理由		傍聴者数	9 人
会議次第	1. 開会 2. 議事 1)連続立体交差事業などの都市計画事業について 2)東村山駅周辺まちづくりの取組み状況について 3. 閉会				
問合せ先	まちづくり部まちづくり推進課 担当者名 井上・根津・星野 電話：042(393)5111(内線2793、2794) FAX:042(397)9438				
会 議 経 過					
■配布資料： ① 西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）連続立体交差事業等について（パンフレット） ② 東村山駅周辺まちづくり基本計画（パンフレット） ③ 東村山駅周辺まちづくりニュース第34・35・36号 ④ 東村山駅周辺まちづくり基本構想（パンフレット） ⑤ 東村山駅周辺整備の方向性（パンフレット） ⑥ 東村山駅周辺まちづくり協議会設置要綱 ※ 配布対象 ①, ②, ③：出席者全員 ④, ⑤, ⑥：初参加者、配布希望者					

1. 開会

1) 本日の会議内容・進行についての説明

2) 事務局、UD、コンサルの紹介

3) 傍聴希望者の確認

(座長)

・本日の協議会に傍聴希望者はいますか。

(事務局)

・本日は、傍聴希望者が9名お見えになっております。

(座長)

・事務局からの報告で、本日の傍聴希望者は9名ということで、これを許可したいと思います。では、傍聴者の着席まで休憩します。

— (休憩) —

(座長)

・傍聴される方は、「東村山駅周辺まちづくり傍聴に関する定め」に従って傍聴をお願いいたします。

4) 渡部市長よりあいさつ

2. 議事

1) 連続立体交差事業などの都市計画事業について

(事務局)

連続立体交差事業などの都市計画事業について、現在の進捗状況等をスライドを用いて説明を行った。

2) 東村山駅周辺まちづくりの取組み状況について

(事務局)

東村山駅周辺まちづくり基本計画等、これまでに検討を進めてきた東村山駅周辺まちづくりの取組み状況について、スライドを用いて説明を行った。

その後、1) 及び2) の内容について質疑応答を行った。主な質疑は以下の通り。

Q. 駅前交番は高架化後は駅の下に入るのか。住民としては防犯上の観点から高架下に入れてほしい。

A. 現時点では交番が高架下に入るかは決まっておりません。今後、住民の皆様のご意見も踏まえて関係機関と協議をしてまいります。

Q. 東村山駅のホームが3面6線から2面4線になるのはどのような理由があったのか教えてほしい。

A. 高架化して3面6線にすると、現状よりもかなりの幅を要し大きな高架橋となるた

めコストがかかってしまいますが、2面4線とすることでコスト削減が図られます。
また、上り線、下り線を1つのホーム上に配置することで、上下移動がなくなり乗換
利便性も向上するということが理由として挙げられます。

Q. 市が無償で使用できる高架下の15%について、新たに作る交差道路に15%分が
使用されることになり、自由に使える空間がほとんどなくなってしまうのではないか。

A. 交差道路は15%分に含まれません。高架下利用可能面積は約25,000㎡あり、市が
無償で使用できる面積は、その15%分となる約3,700㎡となっています。

Q. 連続立体交差事業はとてもいい事業だと思っているが、マイナス面を挙げるとした
ら何があるか教えてほしい。

A. 事業費として、約87億円を市が負担をすることが挙げられますが、踏切解消によ
り交通渋滞の解消や道路・鉄道それぞれの安全性が向上し、地域分断も解消できる等、
プラス面が多い事業ですので、この事業を契機として駅周辺を中心として魅力的でう
るおいのある街をつくっていきたいと考えております。

Q. 高架下利用について、どこでどのような利用を考えているのか教えてほしい。

A. 高架下利用について現時点では決まっておられません。今後も住民の皆様にご意見
を伺いながら、高架下利用について検討を行い、関係機関と協議を進めていきたいと
考えております。

Q. 都市計画道路3・3・8号線の完成目標年次は変わっていないのか。用地取得状況
や現在の整備状況が分かれば教えてほしい。

A. 都市計画道路3・3・8号線の用地取得状況については、東京都事業ということも
あり、詳細は手元になく分かりかねますが、野口橋からさくら通りまでの区間につい
ては、平成25年度に事業認可が取得され、平成31年度までの認可期間となっております。

Q. 高架化された時の東村山駅のホームの幅は現状とどれくらい変わるのか教えてほし
い。

A. パンフレットによると約4～9m程になります。エスカレーター等の配置もあるた
め、幅が広がる部分が出てくることが考えられます。

Q. 高架化されて渋滞が解消されるというが、府中街道と鷹の道の交差点は付近の交差
点と近接しており、渋滞が発生していると思う。都市計画道路3・3・8号線ができ
ることで複雑な交差点となると思うが、市としてどのように考えているのか。

A. 都市計画道路3・3・8号線は東京都事業として、野口橋からさくら通りまで事業
認可を取得し現在事業が進んでおります。過去には交通量調査も実施し、東京都にて

設計を行い、渋滞の時間帯や長さなどを把握した中で事業を進めていると伺っております。当市としましては、新たな道路ができて渋滞が解消されないということがないように、協議をしております。

<事務局より>

まちづくり協議会の次回の予定は未定となっておりますが、今後もポイントでは、連続立体交差事業の工事の進捗状況等、東村山駅周辺まちづくりの状況報告をさせていただきたいと考えております。

3. 閉会